



ようがんばったなあ～

お別れの朝、選手から渡された色紙  
大篠のみなさん、本当にお世話になりありがとうございました。初日、大篠に着いたとき、出迎えてくれたときのみなさんのひまわりのような温かい笑顔、試合に向かう朝、お見送りしてくれたときの元気が出る拍手・笑顔、試合場での力強い声援、試合後のやさしいお言葉、そして毎日のおいしい料理、本当にどれも感謝の気持ちでいっぱいです。この5日間の思い出は、私の一生の宝になることと思います。本当にありがとうございました。（千葉県剣道成年女子先鋒 中川久美子）

選手からの“ありがとう”



今日はわが子を送り出すような気持ちで応援に来ました。勝利を祈願して作った料理や部屋の飾りつけは選手のみなさんも喜んでくれ、若い選手は涙を浮かべて感激してくれました。選手には悔いのないよう力を発揮してほしい。民泊協力会の体験は初めてですが、町内の心を1つにしてがんばらせてもらいました。いろんな体験・勉強をさせてもらい、町内の人々のつながりも深まり、すごく良かったです。（北村高子さん・林田）

わが子のよひんじょ...



民泊先の馬も応援!?



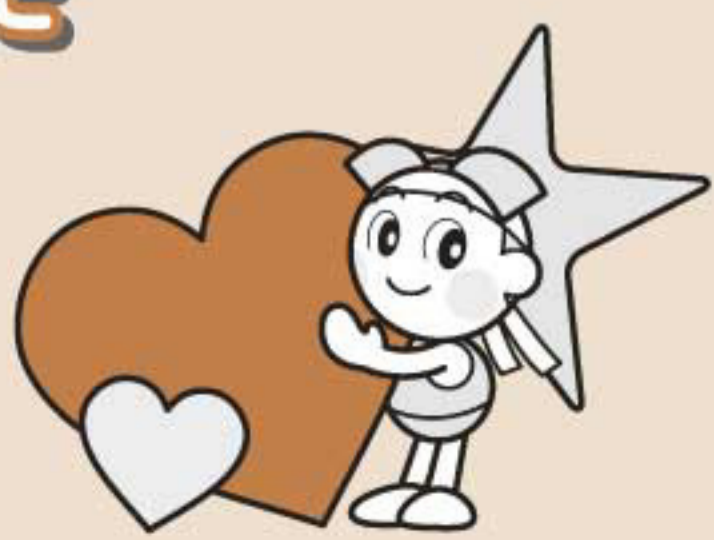
送別会では肩を組んで

民泊で来た子たちは、優しくさわやかな高校生らしいスポーツマン。みんないい子たちで、出会えて本当に良かったです。あっという間の3日間でしたがとてもいい経験ができました。心にいいものをいっぱいもらえました。5人の息子ができたようで、明日の別れが辛いです。（川端誠一郎さん・敏子さん・上河原）



民泊協力会の思い出をCDにして配布

国体が残した  
ふれあいとつながり



ほぼ半世紀ぶりに岡山県で開催された国体。「津山でも国体を成功させよう、選手のみなさんに力を発揮してもらおう」。こうしたみなさんの思いに支えられて始まりました。競技運営のために連日参加した高校生・消防団員・スポーツ関係団体のボランティア（運営補助員）、心温まるもてなしで受け入れた民泊協力会、そして応援に駆け付け、陰で支えた市民みなさんの力で大成功の内に終えることができました。好評だった円滑な競技運営。選手から「一番の思い出となった」と言われた民泊。会場では、子どもの応援に九州から駆け付けたお母さんが「心強い応援を受けて本当にうれしかった」と涙を流して喜ぶ姿も…。みなさん一人ひとりの思いがこの国体の成功に結びつきました。国体によって深まった人と人とのつながりは、これからの津山の財産にもなることでしょう。協力していただいたすべてのみなさん、ありがとうございました。

問い合わせ先 国体推進室 32・2123



特集

それぞれの

# 晴れの国おかやま国体

～民泊で  
みる国体～



のぼり旗を掲げて、町内でお出迎え



選手を迎える前に、町内を花で飾り付け



心のこもった民泊料理



試合に向かう選手に、必勝の祈りを込めて見送り



これからウェルカムディナー



つやまっ子の元気な踊りを披露



今年の誕生日は格別!



柔道選手って大きいな



「力を発揮して」と願いを込めて